

# 地域キャンパス校・センター校だより

～地域キャンパス校・センター校の取組を発信する～

新しい高校づくり推進室

平成29年1月18日 発行

通算 第14号

地域キャンパス校の教育環境の充実に向けた取組

## 地域キャンパス校3校の生徒が交流

～遠隔システムを活用して生徒会執行部が交流活動を実施～

地域キャンパス校の生徒同士が遠隔システムを活用して交流する「第1回胆振管内地域キャンパス校における生徒会執行部の交流活動」が、12月12日(月)に虻田高校、厚真高校、穂別高校の3つの地域キャンパス校を結んで開催されました。

本交流活動には、3校から計15名の生徒(生徒会執行部)が参加し、遠隔システムを活用して学校行事や生徒会活動の紹介を行ったほか、今後の生徒会活動で取り組んでみたいことなどについて意見交換を行いました。

学校紹介では、虻田高校から、観光客に洞爺湖の説明をする「遊覧船ガイド」の取組や生徒が主体となって取り組む学校祭の壁画(モザイクアート)づくりについて、厚真高校からは、キャリア教育に関する取組や生徒会が主体となって行う挨拶運動、各種生徒会行事における執行部の取組について、穂別高校からは、本校が指定を受けて取り組んでいる「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」において、小学生に対して地元の博物館のガイド役を行う「体験型プロジェクト」についての説明がそれぞれありました。

また、意見交換では、生徒会が行う挨拶運動やゴミの分別運動の状況、今後、生徒会として取り組んでみたいことなどについて、話し合いました。

参加した生徒からは「説明する時は緊張しましたが、交流を通して他校の様子が分かり、今後の参考や励みになりました。」などの声が寄せられました。

3月には、第2回目の生徒会交流を予定しており、今回の意見交換で各校から出された、今後の取組に関する進捗状況や次年度に向けた取組などについて情報交換する予定です。



【フリップを用いて説明する様子】

## 宗谷管内の4校が合同で校内研修

～遠隔システムを活用して講話と研究協議を実施～

特別支援教育に関する4校合同の校内研修会が、11月22日(火)に、北海道立特別支援教育センターと、豊富高校、稚内高校(定時制)、礼文高校を結んで開催されました。



【他校の教員と協議する様子】

本研修会は、「発達障がい支援成果普及事業」の推進校の指定を受けている地域キャンパス校の豊富高校が、職員の特別支援教育に対する理解を深め、研究の一層の充実に資することを目的に実施したものであり、遠隔システムを活用して、豊富高校のほか、礼文高校、稚内高校定時制、稚内養護学校(稚内高校で参加)から合計32名の教職員が参加しました。

研修会では、特別支援教育センターの立田室長から「発達障がいや知的障がい、その疑いのある生徒に対する支援の在り方」と題した講話を配信した後、講話の内容を踏まえて、各校の参加者による研究協議を行いました。

参加者からは、「学校にいながらにして講演を聞くことができたり、他校との情報共有ができるなど大変有意義な研修となり、今後の指導に生かして行きたいと思います。」「学校全体で生徒を支援する大切さを理解することができました。」「生徒のよさを伸ばす継続的な支援を行っていききたいと思います。」などの声が寄せられました。